

■日 時 2018（平成 30）年 5 月 31 日（木） 午後 7 時～午後 9 時 40 分

■場 所 市役所 5 階第 4 会議室

■出席者（敬称略・順不同）

（座長）塔本正子、（副座長）若菜敏孝

石渡眞澄、野口裕之、井上浩子、松井弘喜、相川時雄、近藤雅江、澤野マサ子、  
稲葉昌代、長塚諭、藤本正照、須田高齢介護課長、杵山学校教育課長

（アドバイザー）海老原修

■欠席者（敬称略・順不同）

なし

■事務局出席者

芳垣市民協働部長（途中退席）

翁川文化スポーツ課担当課長、土屋係長、鈴木主任、森主事

■会議の公開・非公開 公開

■傍聴人の有無 0 人

■記録 森主事 平成 30 年 5 月 31 日作成

■議題

1. 平成 29 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取
2. 総合計画実施計画（取り組みの方向）、基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」及び個別計画「逗子市スポーツ推進計画」の見直しについて
3. その他

■事前配付資料

資料 1 平成 29 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理（自己評価）について

資料 2 評価ランクの基準

資料 3 逗子市スポーツ推進計画 p22～p25、p55～p61

参考資料 1 平成 29 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理（自己評価）に関する意見聴取について

参考資料 2 平成 29 年度 うみかぜクラブメニュー 一覧表

参考資料 3 スポーツの祭典 2017 事業実績報告書

参考資料 4 スポーツの祭典 2017 イベント別参加者集計表

参考資料 5 小学生のためのスポーツ団体一覧（平成 29 年 4 月現在）

参考資料 6 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画進捗管理票

■当日配付資料

次第

名簿

参考資料 7 スポーツの祭典 2017 パンフレット

参考資料 8 健康・体力相談 チラシ

平成 29 年度 逗子市スポーツの祭典実行委員会収支決算書

## ■議事概要

### ●開会

### ●新参加者の紹介

#### 翁川担当課長

- ・スポーツ推進委員協議会会長 相川<sup>あいかわ</sup> 時雄<sup>ときお</sup> 委員
  - ・特定非営利活動法人ズシップ連合会からの推薦 澤野<sup>さわの</sup> マサ子<sup>こ</sup> 委員
  - ・小学校校長会からの推薦 長塚<sup>ながつか</sup> 諭<sup>さとし</sup> 委員
  - ・市教育部（学校教育課）から 杵山<sup>すきやま</sup> 英廷<sup>ひでと</sup> 委員
- ・参加者、一人ずつ自己紹介

### ●事務局の紹介

- ・芳垣市民協働部長 挨拶
- ・翁川担当課長、以下担当職員紹介（部長退席）

### ●資料の確認

### ●議事の確認

本日2点ある議事について簡潔に説明する。

1. 平成29年度逗子市スポーツ推進計画進行管理（自己評価）に関する意見聴取について、所管課の自己評価に関して、ご意見をいただきたい。
2. 総合計画実施計画の取り組みの方向、基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」及び個別計画「逗子市スポーツ推進計画」の見直しについて、それぞれご意見をいただきたい。

#### 翁川担当課長

スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会運営要綱第3条第2項に基づき、この後の進行は座長にお願いする。

## ●議事

### 塔本座長

議事に入る。議事1の「平成29年度逗子市スポーツ推進計画進行管理（自己評価）に関する意見聴取」について、事務局から説明をお願いする。

### 翁川担当課長

資料1、2及び参考資料1～8をご覧いただきたい。

進行管理の対象は、個別計画の上位計画である総合計画と基幹計画に記載されている事業である。それぞれに対する所管課の自己評価について、意見をいただきたい。また、スポーツ推進計画の場合はリーディング事業が1つ、基幹計画事業が3つである。さらに、スポーツ推進計画全般（施策体系ごと、理念）に対する所管課の自己評価についても、意見をいただきたい。

### 土屋係長

資料1の事業進行管理票について、1事業ずつ説明する。

まず初めに、事業進行管理票（高齢者向けスポーツプログラム充実事業）について説明する。資料1及び参考資料2をご覧いただきたい。

（資料1 事業進行管理票（高齢者向けスポーツプログラム充実事業）について説明）

### 塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

### 松井委員

反省点・問題点に「新規の参加者が入りやすい雰囲気づくりが課題」とあるが、事務局として改善策はあるのか。そのような課題は、うみかぜクラブと事務局とで話し合うべきである。

「高齢者体力アップ体操」の会場が保健センターであり、池子の端に位置していることが問題である。スポーツへの参加は歩いて行ける距離が理想であり、現状だと小坪や新宿に住む人が歩いて来るのは難しい。解決案としては、特別教室をコミュニティセンター（以下「コミセン」という。）等で開催する、市で予算化して実施する等が挙げられる。

うみかぜクラブの会員は、逗子文化プラザ市民交流センターにおけるプール事業の休止によって減少した。会員にも都度会費を徴収することで運営は継続できると思われるが、総合型地域スポーツクラブとしての地域のコミュニティ作りについて、うみかぜクラブと事務局とでアイデアを出し合い、メニューに反映できれば良い。

### 塔本座長

松井委員の意見は、2017年度を踏まえた上の意見として、検討してもらいたい。

<2017年度 進捗状況>の所管課の自己評価について、事務局に聞きたいことはあるか。

### 井上委員

うみかぜクラブのHPは、市が運営しているのか。

## 事務局

運営は逗子市体育協会（以下「体協」という。）が行っている。

## 井上委員

HPの形式が古く感じる。HPのイメージが変われば、もう少し窓口が広がるのではないかと。

## 塔本座長

HPについては、体協でも課題としている。多くの人に見てもらい、活動を知ってもらうためにも、HPは適切に更新していくべきである。

委員の皆さまの意見を取りまとめ、評価を決める必要があるため、評価につながる意見があればありがたい。

## 長塚委員

「高齢者体力アップ体操」では、どのような体操を行っているのか。

また、1回の時間はどの程度か。

## 松井委員

座りながらの体操であり、あまり激しい運動ではない。3クラスに分かれており、午前のクラスは少し激しい体操やストレッチ、午後のクラスは椅子に座ってできる運動である。

また、1回の時間は約1時間程度である。

## 長塚委員

反省点・問題点に「新規の参加者は少ない」とある。これまでスポーツや体操に参加する経験の無い人でも参加しやすいよう、プログラムや会場を改善することで、新規の参加者が増加するのではないかと。

## 松井委員

新規の参加者の募集に向けて、随時ポスティングを行っている。また、ZASA Sports Newsでの情報提供や、例年2月に実施している「うみかぜまつり」でも広報している。

## 相川委員

「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」＝うみかぜクラブの事業で良いのか。事業名に対して、うみかぜクラブの事業一本に絞って良いのかと感じる。

また、工夫している点において、特定健診の受信者向けに配付された1回無料券は何枚配付され、何枚使用されたのか。

## 事務局

体協で200枚用意して国保健康課に渡したが、体協に使用状況を確認したところ、2枚しか使用されていないようである。

## 井上委員

「高齢者体力アップ体操」の参加者が2,092人で良いのか。毎週月曜日の実施のみで、2,000人強の参加者数を達成しているのか。

## 松井委員

そのとおりである。1日3クラス合計で50～60人の参加者がある。

## 井上委員

1つの事業でそれほどの参加者を集めていることは、良い状況であると判断する。一方で、例えば市役所1階等、会場がもう1か所でもあれば良い。

大切なことは、逗子に住む高齢者が運動しやすい環境の整備であるので、1つの事業で約2,000人も集められるスキルがあるならば、市役所に場所を設けて、うみかぜクラブから指導者を派遣すれば良い。そのような、うみかぜクラブと市とが連携する工夫があれば良い。市役所は大変魅力的な場所にあるので、多くの高齢者が運動するだろう。市役所に高齢者用のスポーツジムがあっても良いと思う。

## 松井委員

うみかぜクラブにおける高齢者向けスポーツプログラムには、「健康体操」もある。高齢者の参加も多く、1回に80~100人参加する。平成29年度は年間で55回実施し、3,653人が参加した。

なぜ、「高齢者体力アップ体操」のみ事業進行管理表に掲載して、「健康体操」は掲載していないのか。

## 塔本座長

高齢者向けのスポーツプログラムであれば、掲載しても良いと思う。

松井委員の意見のように、逗子市立体育館は池子にあるので、小坪に住む人は来づらいという意見は以前から出ている。「高齢者体力アップ体操」が保健センターで実施しているように、他のメニューでも可能であればコミセン等で実施することで、様々な人が参加できるのではないかな。

## 相川委員

うみかぜクラブのメニューは、基本的に会員でないと参加できない。非会員の人がどのように考えているのか知りたい。

工夫している点で「1回無料券を配付」とあるなら、回収状況を確認し、非会員の参加状況をフォローバックしないと、会員の増加と言ってもなかなか難しい。

## 塔本座長

市が実施する高齢者向けのスポーツプログラムがあったかと思う。窓口が多ければ、様々な地域の人に参加できると思う。

高齢者向けスポーツプログラム＝うみかぜクラブの事業というのは、うみかぜクラブが運営や広報を頑張っていることの表れである。しかし、市内各所で高齢者向けのスポーツプログラムはすでに実施されているし、高齢化が進む逗子市では推進していくべきである。

## 近藤委員

「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」は、市全体を見た基幹計画の事業であって、うみかぜクラブの事業だけではない。例えば、小坪コミセンでも高齢者向けの体操教室があり、市内各所で高齢者向けのスポーツプログラムが実施されていると思われる。事業進行管理表には、包括的に記載すべきではないかな。

## 塔本座長

近藤委員の意見はもっともである。

総合計画においてうみかぜクラブの会員登録数が目標となっていることが、基幹計画にも紐づいていると思われるが、うみかぜクラブが市の高齢者向けスポーツプログラムを代表して良いのかといった疑問はある。

他に質問・意見はあるか。

## 【意見なし】

## 塔本座長

総合評価について、所管課の自己評価は「(a) 順調である」であるが、何か質問・意見はあるか。

## 井上委員

市全体の「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」だとしたら、うみかぜクラブ以外の事業を把握していない時点で「(b) 概ね順調であるとみなせる」であると思う。うみかぜクラブの事業だけを掲載して「(a) 順調である」と評価するのは無理がある。市全体でどのような高齢者向けスポーツプログラムが実施されているか把握した方が良い。

## 須田委員

事業進行管理表の目標は「高齢者向けスポーツ教室の参加者が2,000人になる。」であり、あくまでその目標に対する評価をするということだと思われる。

## 事務局

そのとおりである。総合計画でうみかぜクラブについて特記しているので、うみかぜクラブの事業である「高齢者体力アップ体操」に絞り、参加者について、平成27～28年度に評価してもらっている。「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」も同様に、策定時の評価であり、実態とそぐわない部分もあるが、現段階で修正するのは難しい。

## 須田委員

そうであれば、評価項目の追加は想定されていないので「(a) 順調である」ではないか。井上委員の意見では、内容それ自体を作り変えて評価しないといけない。

## 相川委員

手段でうみかぜクラブについて記載されているので、このままで良いのではないか。

## 事務局

「逗子市スポーツ推進計画」を策定した際に、客観的に比較できる数値目標を重視して、高齢者向けスポーツ教室の参加者を2,000人と設定し、手段にうみかぜクラブを出した。コミセンでの高齢者向けの体操や、福祉的な健康とスポーツの結び付け等も重要であるが、事業進行管理表における目標や手段を考慮すると「(a) 順調である」といえる。

#### **塔本座長**

他に意見がある場合は、審議会・懇話会等の意見として最後に記載する部分があるので、そこで意見をもらいたい。今回は、所管課の自己評価「(a) 順調である」に対して評価してもらいたい。「(b) 概ね順調であるとみなせる」という意見もあるが、意見を集約して評価したい。

#### **須田委員**

井上委員の意見は、審議会・懇話会等の意見とすれば良いのではないか。

#### **野口委員**

2018（平成 30）年度の目標とあるが、今回の懇話会では平成 29 年度の実績に対して評価するので、2017（平成 29）年度の目標と読み替えて良いのか。そうでないなら、様式が分かりづらい。

また、現状が 2013 年度末となっているのは、なぜか。

#### **事務局**

2018（平成 30）年度までに達成すべき目標に対して、平成 27～29 年度の 3 年度の進捗について評価してもらいたい。

また、現状には、基幹計画策定時の最新の状況が記載されている。

#### **塔本座長**

審議会等が妥当と考える評価区分について、事務局の提案どおり「(a) 順調である」でよろしいか。

### **【異議なし】**

#### **塔本座長**

「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」の審議会等が妥当と考える評価区分は、「(a) 順調である」で決定する。

#### **土屋係長**

次に、事業進行管理票（スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典））について説明する。参考資料 3、4、7 をご覧いただきたい。

（資料 1 事業進行管理票（スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典））について説明）

#### **塔本座長**

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

## 長塚委員

平成 29 年度の参加者数は減少しているが、天候等ははっきりとした原因はあるのか。

## 事務局

イベントの数は 2 種目増加したが、参加者数は大幅に減少した。より多くの参加者を呼び込めるようイベントの種目数を増加したが、「みんなの運動会」の参加者数には及ばなかった。また、朝方に雨が強く降ったため、屋外イベントの集客も芳しくなかった。

## 松井委員

「みんなの運動会」を実施しないと決めた時点で、参加者数の減少は予想されていた。スポーツの祭典 2017 は、「する」スポーツから「観る」スポーツに移行する過程があり、初めから想定済みの採点であるはずである。

## 塔本座長

イベントや種目を中止する際、同程度の集客が望める代替案が無いと、参加者数はどうしても減少する。数値での評価が本当の評価に値するのか考えるところである。

## 野口委員

あくまで懇話会では数値に対しての評価である。例えば、「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」において、うみかぜクラブがボリュームとして最も大きいから、うみかぜクラブの参加者が増加すれば、波及して小坪等でも同程度実施されているという考えである。代表的な指標に対して評価することで、全体を評価しようとしているのではないか。

数値にこだわりすぎるのも良くない。「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」の目的は、「すべての市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を提供し、継続的にスポーツを実施していくためのきっかけづくり」である。そこで、スポーツに参加している人に対して、きっかけを確認することはあるのか。例えば、スポーツ団体にアンケートを取っても良いだろう。

事業の目的と目標の数値がずれており、参加者数を評価しても意味がないと思われる。

## 井上委員

数値を見ると、評価を「(c) 順調であるとはみなせない」とせざるを得ない。

しかし、本来の主旨から見ると、「ボッチャ」や「カローリング」の参加者数は伸びており、市として逗子における 1 つの楽しむスポーツとして取り入れていくなれば、大いに意味がある。これらの競技は、数回の講習で指導員を育成でき、体育館でもできる気軽なスポーツであるため、初期費用もそれほど必要ない。

数値には表れない部分が伸びているなら、「(c) 順調であるとはみなせない」から「(b) 概ね順調であるとみなせる」に評価を変えても良いと思う。

## 藤本委員

目的を考慮して参考資料を見ると確かに参加者数は減少しているが、きっかけづくりの点から見ると新たな種目にチャレンジしていたり、参加者数が増加している種目もあったりと、きっかけづくりという目的に対して効果はあったと思われる。

評価は「(b) 概ね順調であるとみなせる」でも良いと思う。

#### 塔本座長

他に意見はあるか。

#### 【意見なし】

#### 塔本座長

審議会等が妥当と考える評価区分について、「(b) 概ね順調であるとみなせる」としてよろしいか。

#### 石渡委員

昨年も評価を「(b) 概ね順調であるとみなせる」に持ち上げたが、今年も評価を持ち上げるとすれば、数値に表れない部分で多大なる効果を挙げていることを審議会・懇話会等の意見に記載しないと、甘い評価とみなされてしまう。

目標を設定した時と情勢が変わっており、無謀な目標であるとの解釈を持って「(b) 概ね順調であるとみなせる」とするならば文句はない。

#### 相川委員

一回設定した目標は修正できないようだが、社会状況によってはある程度柔軟性があつた方が良い。数値だけで見ると「(c) 順調であるとはみなせない」となるが、何とか評価を良くしようと努力度を見たら、意見で書けば良い。

目標を都度変えるのは良くないが、4年間修正しない、下手したら20年間も目標を修正しないといった逗子市総合計画審議会もある。目標が空文化し、全く意味の無いものになってしまうので、勇気をもって変えても良いのではないか。

#### 石渡委員

総合計画の前期の8年間、今年で4年目が終わろうとしているが、8年目の目標は参加者数5,000人である。

#### 井上委員

昨年、安全面の問題から参加者数4,000人は厳しいという意見を聞いた。安全面を考慮したという理由で、目標を変更することはできるのではないか。

#### 野口委員

目標の数値を修正するより、そもそも数値を目標にすることから修正した方が良い。

あくまで懇話会は評価する場とするならば、現状は「(c) 順調であるとはみなせない」で良いと思う。

#### 石渡委員

懇話会の委員は目標については何も言えない。目標に対して公正に判断するだけである。

昨年も意見を述べたが、1日の開催ではなく何日か開催して目標の4,000人を達成しても良い。やる気があれば、そのような方法もある。

#### 塔本座長

目標をどのように捉えるか、昨年も同じ議論をして評価をしている。

#### 須田委員

リーディング事業であるので総合計画にも掲載されていると思われるが、目標を4,000人と設定した時は所管課から数値を挙げている。数値を挙げた根拠を教えてください。

#### 事務局

昨年までは予算が70万であったが、最初のスポーツの祭典は300万程度の予算があり、横浜DeNAベイスターズから2軍の選手やコーチを招へいして野球教室を開く等、財政的に豊かな状態で1回目を行い、結果3,500人の参加があった。その時に、継続して実施することで、参加者数を上回っていくという目標を立てた。

#### 松井委員

1回目のスポーツの祭典に対しての目標参加者数は設定されていたのか。確か1回目から4,000人という目標であったと思うが。

#### 石渡委員

スポーツの祭典の前身である「健康まつり」を参考にしていたのではないかと。

#### 塔本座長

審議会等が妥当と考える評価区分について、事務局の提案どおり「(c) 順調であるとはみなせない」でよろしいか。

### 【異議なし】

#### 塔本座長

「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」の審議会等が妥当と考える評価区分は、「(c) 順調であるとはみなせない」で決定する。

#### 土屋係長

次に、事業進行管理票（スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実））について説明する。参考資料5、8をご覧ください。

（資料1 事業進行管理票（スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実））について説明）

#### 塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

#### 井上委員

「健康・体力相談」は、1人当たりどのぐらいの時間か。

#### **事務局**

1人当たり20分程度であるが、中には1時間近く相談を受ける人もいる。

#### **石渡委員**

目標に対しては達成しているので良いと思う。

予約受付の窓口はどこが担当しているのか。また、予約が取れなくて機会を損失したケースはあるのか。

#### **事務局**

予約受付の窓口は体協である。

#### **松井委員**

予約が取れないということは、ほとんどない。

#### **藤本委員**

「有資格者の職員」とあるが、現在「健康・体力相談」を担当している職員はどのような資格を持っているのか。

#### **海老原アドバイザー**

資格や免許であれば、「健康運動指導士」等がある。

#### **塔本座長**

他に意見はあるか。

### **【意見なし】**

#### **塔本座長**

審議会等が妥当と考える評価区分について、事務局の提案どおり「(a) 順調である」でよろしいか。

### **【異議なし】**

#### **塔本座長**

「スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実）」の審議会等が妥当と考える評価区分は、「(a) 順調である」で決定する。

#### **土屋係長**

次に、事業進行管理票（池子の森自然公園の運動施設利用推進事業）について説明する。  
（資料1 事業進行管理票（池子の森自然公園の運動施設利用推進事業）について説明）

#### 塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

#### 秋山委員

進捗状況は「エ 事業中止」とはならないか。これ以上の進捗は望めないで、事業中止ではないか。

#### 事務局

評価の対象が池子の森自然公園の維持管理と、アーチェリー場の設計及び整備の2本立てであり、あくまでアーチェリー場の整備は一部分であるため、「ア①予定どおり進捗」としている。

#### 須田委員

目標は「アーチェリー場の整備」のみであるため、「エ 事業中止」ではないか。

#### 野口委員

目標に対しての評価であれば、「エ 事業中止」の解釈であると思う。

#### 塔本座長

アーチェリー場の整備については、以前から整備の中止が決定しているにも関わらず、総合計画に記載されているため評価せざるを得ないということで、毎年同じ意見が出る。どのように評価をしたら良いか、「(a) 順調である」という所管課の評価で良いのか意見をいただきたい。

#### 松井委員

実際に評価するのは、池子の森自然公園の維持管理についてで良いのか。

#### 事務局

そのとおりである。

#### 塔本座長

池子の森自然公園におけるアーチェリー場の整備が中止になったことは承知しているが、第一運動公園等、他の場所でのアーチェリー場建設の計画はあるのか。

#### 事務局

他の場所で建設ができるか見直しているところである。

#### 塔本座長

2017年度の進捗状況に対する評価であるため、基本的にはアーチェリー場の整備が中止になったことを除けば順調であると思う。

#### 石渡委員

進捗状況は中止であることを認識できるよう「エ 事業中止」とし、評価は「(c) 順調であるとみなせない」としっかり記載すべきではないか。もしくは、評価自体は年度別であると考え、2017（平成29）年度の評価は池子の森自然公園の維持管理がなされたとして「(a) 順調である」として、来年の2018（平成30）年度の評価で、アーチェリー場の整備が中止になったことをしっかりと記載する手もある。

**塔本座長**

他に意見はあるか。

**【意見なし】**

**塔本座長**

審議会等が妥当と考える評価区分について、事務局の提案どおり「(a) 順調である」でよろしいか。

**【異議なし】**

**塔本座長**

「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」の審議会等が妥当と考える評価区分は、「(a) 順調である」で決定する。

**土屋係長**

最後に、個別計画進行管理総括表について説明する。  
(資料1 個別計画進行管理総括表について説明)

**塔本座長**

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

**野口委員**

目標設定は何とかしてほしい。

**塔本座長**

評価の「B」については、資料2にあるように数値的に決まっているので、事業進行管理表においていただいた評価によって自動的に決まる。

**相川委員**

事業名と目標値が乖離しているような気がする。例えば、「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」については、充実を図るための方法は記載されておらず、2,000人という数値だけが記載されている。目標の数値が独り歩きしているのではないか。

アーチェリー場の整備が中止になっても、本来の目的である推進を考えるのであれば、目標を立て替えて何か事業を実施することを考える必要がある。

4年前に立てた目標を修正できず、数値のみを集めて評価するのは意味がないと思う。

## 塔本座長

他に意見はあるか。

意見が無ければ、審議会等が妥当と考える評価区分は「B」でよろしいか。

## 【異議なし】

## 事務局

本日いただいた意見は、事務局でまとめた後、委員の皆さまに内容の確認をお願いする。皆さまの確認の後、内容を確定する。

## 塔本座長

議事2の「総合計画実施計画（取り組みの方向）、基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」及び個別計画「逗子市スポーツ推進計画」の見直し」について、事務局から説明をお願いします。

## 翁川担当課長

まず初めに、資料3のp55～p57をご覧ください。

（総合計画実施計画（取り組みの方向）の見直しについて説明）

## 塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

## 井上委員

この取り組みの是非について意見を述べれば良いのか。アーチェリー場の整備についての文言は、この後無くなると思えば良いのか。

## 事務局

「取り組みの方向」についてのみ、意見をいただきたい。

## 石渡委員

「取り組みの方向」の文言について修正点はあるか、意見を述べれば良いのか。

## 事務局

そのとおりである。

## 石渡委員

総合計画の見直し年度ではないはずであるが。

## 事務局

今回の懇話会を経てすぐに修正されるわけではなく、今後修正すべきかどうか、3年間の進捗を踏まえて意見をいただきたい。

## 塔本座長

他に意見はあるか。

## 【意見なし】

## 翁川担当課長

次に、資料3のp57～p61をご覧ください。

(基幹計画「共に学び、共に育つ、共育(きょういく)のまち推進プラン」について説明)

## 塔本座長

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

## 長塚委員

「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」の「現況・課題」において、子どものスポーツ離れによる体力不足と記載されているが、決してスポーツ離れは起こっていない。全体的に体力は伸びてきており、むしろ、スポーツ参画の二極化が激しくなっている。

「小学生のためのスポーツ団体一覧」による情報提供や、種目が多岐にわたるスポーツの祭典を鑑みると、子どもにとって大変恵まれていると感じる。しかし、入口が競技となっていて狭く、日常の遊びが経験できるクラブや催しがあると、スポーツに触れる機会が少ない子どもにも裾野が広がり、スポーツ環境が充実にしていくのではないかと。

## 須田委員

目標の人数を変えることはできるのか。スポーツの祭典の目標参加者数はハードルが高く、現実的な数値にすり合わせていったら良いと思う。

## 事務局

基幹計画の懇話会に、修正案を上げることはできる。ただし、目標を変えるとこれまでの指標も変わるため、その是非について考える必要はある。

## 石渡委員

2019(平成31)年度～2022(平成34)年度の主な事業内容について、意見を述べれば良いのか。また、2022(平成34)年度の目標の数値を変更したい旨の意見を述べても良いのか。基幹計画には、何に対して意見を言えば良いのか。

## 事務局

目標を変更する際は、根拠が無いと難しい。

今回は事業概要の目的について、違ったアプローチがあれば意見をいただきたい。特に、「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」については、目標のアーチェリー場の整備ではなく目的を見て、どのように運動施設の利用推進を図り市民に親しまれるかについて、意見をいただきたい。

## 石渡委員

「高齢者向けスポーツプログラム充実事業」の手段に、うみかぜクラブだけでなく地域で実施されている体操等の推進といった文言を入れたらいかがか。

## 井上委員

現状は、目標の数値に合わせた手段が記載されている。

## 相川委員

本来なら、目的に対してどのような手段があるか記載すべきである。現状は、目標の数値が独り歩きして、目的や手段が蔑ろにされている。

## 石渡委員

事業概要の手段に+αの文言は追加できないのか。逗子市体育協会とうみかぜクラブ以外の活動について、追加できたら良い。

## 相川委員

目的は良いと思う。対象は市民であるので、あとは手段である。

神奈川県教育委員会がラジオ体操の定着に向けて積極的に動いていること等も手段として取り上げれば、自然と高齢者向けのスポーツプログラムの充実が図れると思われるし、数値も増加する。

## 松井委員

解釈としては、手段というより数値のカウント方法である。

## 井上委員

高齢者向けの遊具があり自然と高齢者が集まる公園を設置するといったことを手段に加えてはいかがか。現状だと、逗子市体育協会とうみかぜクラブに頼りすぎである。

## 事務局

公園の整備となると所管が変わり、基幹計画の懇話会に意見を上げることも難しい。

## 若菜副座長

事業を起承転結で見ると、結の部分が無い。指標を人にするのか件数にするのか曖昧であり、表現がアナログ的な評価となっている。デジタル的な評価に変更しなければ、毎回同じ意見が出る繰り返しである。どうしてもアナログ的な評価になることもあるが、見直しをするならば、具体的な指標を加えてほしい。

## 須田委員

次第には、総合計画、基幹計画、個別計画それぞれの見直しと記載されているので、見直しができるかと勘違いする。どこまで見直しができるのか、それを最初に示してほしい。

## 事務局

総合計画については、見直しは難しいと考えている。基幹計画については、基幹計画の懇話会に意見を上げるに留まる。最後の個別計画については、方向性等は見直しができる。

## 石渡委員

個別計画は、総合計画と基幹計画があつてのものである。そのため、総合計画が修正できなければ、個別計画も修正できないはずである。総合計画の修正は、逗子市総合計画審議会が行うので、懇話会のメンバーは意見が言えない。

## 事務局

懇話会で出た意見は、基幹計画の懇話会に持ち上がり、そこでの意見が総計審に持ち上がる。

事務局としては、4事業ある基幹計画事業のうち修正できる余地があるのは「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」のみであると考えている。特に、アーチェリー場の整備については修正の余地があると思われるため、その辺りの意見をいただきたい。

## 野口委員

決定的な事柄でないと、修正できないということか。

## 事務局

そのとおりである。決定的な事柄に対する文言の変更であれば、シンプルであるため手を入れやすい。

## 須田委員

事務局で、修正案の提案はあるのか。

## 事務局

本来であれば、事務局から修正案を提示するのはそぐわないと思われるが、今回は議論が続いていたため、ある程度の方向性を示した。

## 井上委員

アーチェリー場については、整備の中止が決定しているのだから、削除の方向性で良い。先ほど、個別計画進行管理総括表の審議会等が妥当と考える評価区分で「B」としたが、これだけ見ると、あたかもアーチェリー場が整備されると見えるので、変更は不可欠である。アーチェリー場の整備は無いものを前提に、来年度評価できたら良いと思う。

また、あれだけ頑張っているスポーツの祭典を、参加者数という指標のみで「(c) 順調であるとみなせない」と評価するのは心苦しいので、目標参加者数についても修正すべきである。毎年同じ意見が出て、今後5,000人を目指すのは悲しいので、現状に合った数値の修正案を出すのは当たり前である。万が一、怪我人や死亡者が出たら、市は5,000人の参加者数を目指してイベントを開いて、スポーツ推進をどのように考えているのかと言われ、5,000人という数値が独り歩きしてしまう。

## 事務局

「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」は、総合計画のリーディング事業に位置付けられているため、どこまで修正ができるのか企画課と調整し、委員の皆さまにフィードバックする。

また、パブリックコメントを行う際には修正案が無いと難しいため、目標を修正するの

であれば、修正後の参加者数に関する意見があれば助かる。

#### **井上委員**

目標を達成するのが難しいから目標の数値を下げるのではなく、安全性を考慮した適正な数値を設定するのが良い。スポーツの祭典に直接関わっている方にも意見を聞きたい。

#### **松井委員**

スポーツの祭典を1週間の開催にするのであれば、目標は達成できるかもしれない。しかし、現行通り1日の開催で目標を達成しようとするなら、危険が伴う。今年は市民まつりと同時開催であるので、参加者数は増加すると思われるが、スポーツの祭典を1日かつ独立に開催にするのであれば、3,000人が適正であると思う。

#### **相川委員**

目標の人数に対して手段を考えなければならない。例えば、期間を1週間にする、子どもたちの動員を図る等が挙げられる。1日の開催であれば3,000人程度であると思う。

#### **野口委員**

そもそも、3,000人の参加者数は成功と言えるのか。何が成功なのか考える際に、人数で測るのか、他の手段で測るのか、考える必要がある。目標が数値ありきであるのは違うと思われる。

#### **須田委員**

私の所管（高齢介護課）では高齢者保健福祉計画を策定しており、やはり指標に対しての評価を受けている。企画課から目標設定をするに当たっては、実施の可否ではなく、参加者数や競技種目数等、客観的に分かる数値目標を設定するよう指示がある。総合計画を策定した際にも、その指示を前提に参加者数を設定したと思われ、それは踏襲しても良いと思われる。しかし、過去の実績を見ると、現行どおりの開催では目標の達成は難しいので、目標の数値や、期間の延長等、何かしらの修正が望まれる。

#### **若菜副座長（座長代理）**

総合計画に反映できる意見として出してほしい。基幹計画や個別計画に関する意見も多数でてきたので、改善できるものは改善してほしい。環境、財政や地域の変化は必ずあるので、良い方向に修正するのは問題ない。少しずつ改善した方が、管理もしやすくなる。

#### **石渡委員**

4年間ごとに見直しをするはずである。総合計画は24年間の計画であり、それを8年ごとの前・中・後と分け、さらにそれを4年ごとに分けて必要に応じ見直しを行う。事務局には、懇話会で出た意見がどれほど反映できるか聞きたい。どのレベルの意見であれば、基幹計画の懇話会に意見を上げてもらえるか伝えられないと、意見は言えない。先ほどの、「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」の目標の数値を変えられるのか。

#### **事務局**

意見を上げることはできるが、「スポーツ推進事業（逗子市スポーツの祭典）」は総合計画のリーディング事業に位置付けられているため、正直目標の数値を修正することはハー

ドルが高い。どちらかと言うと期間を延長する等、手段を変えることによって対応し、文言は修正しないことを想定していた。

#### **井上委員**

修正案は、手段を修正した方が良いのか。

#### **事務局**

そのとおりである。

また、「池子の森自然公園の運動施設利用推進事業」について、目標の文言を削除するという意見が出たが、目標を削除してしまうと代替りの目標を立てる必要がある。代替案としては、2022（平成 34）年度の目標を援用しつつ、数値である「10%以上」から若干落とした数値にするというのが挙げられる。

#### **野口委員**

数値は 10%以上で、そのまま目標にすれば良いのではないか。2022（平成 34）年度の目標に対して、進捗を確かめれば良い。

#### **相川委員**

現実問題、アーチェリー場の整備については、文言を削除せざるを得ない。

#### **事務局**

文言を削除する場合、2018（平成 30）年度の目標に代替りの数値目標を入れる必要があるだろう。

#### **須田委員**

平成 31 年度から目標が自動的に変わるので、2018（平成 30）年度までの目標を修正する必要はない。

#### **相川委員**

社会事情が変わったら、計画をローリングすべきである。

#### **井上委員**

スポーツの祭典について、300 万程度の事業費があった頃に立てた目標に対して、現状予算が無ければ、達成は難しい。手段を変えないと 5,000 人は超えない。

アーチェリー場の整備は目標から削除すべきである。

#### **事務局**

目標からは削除できないが、主な事業内容からは削除できる。

スポーツの祭典については、手段か目標の数値を修正することになるかと思われるが、いかがか。

#### **松井委員**

現状の運営や資金繰りを考えると、長い日数の開催は難しいため、3,000 人に目標の数値を下げる方が現実的である。

#### **須田委員**

天候に大きく左右されることも考慮すると、2,000 人が妥当ではないか。

スポーツの祭典のように、どれほど頑張っても参加者数のみで評価されてしまう等、事業内容の積み重ねが紙面には表れてこないのが、どこの所管でもジレンマを抱えている。

#### **近藤委員**

スポーツの祭典については、現場の人が一生懸命頑張っている中で「(c) 順調であるとみなせない」を付けるのが心苦しいので、目標の数値を修正したい。

#### **事務局**

数値に見えない部分で頑張っていることも加味して、目標の数値を下げることは考えられる。

#### **井上委員**

現状の種目数を見ると、評価は決して「(c) 順調であるとみなせない」ではない。

人数は2,000人に設定して、頑張っていきたいと思う。

#### **翁川担当課長**

次に、資料3のp22～p25をご覧ください。

(個別計画「逗子市スポーツ推進計画」について説明)

#### **若菜副座長（座長代理）**

事務局の説明に対して、質問・意見のある方はお願いしたい。

#### **須田委員**

この計画で、他市町村と比較して遜色ないのか等、事務局から修正案はないのか。懇話会の場で委員の皆さまから意見を出してもらい、合意に結び付けるのは難しい。

#### **若菜副座長（座長代理）**

委員の皆さまから意見があれば事務局に伝え、事務局で調整・集約した後に議論したらいかがか。

#### **須田委員**

事務局で修正案を作成して、皆さまに諮るのが良いのではないか。

#### **事務局**

事務局としては、修正する必要は無いと考えている。主な事業や事業の実施時期を重点的に見てもらい、もし修正案があれば意見をいただきたい。

#### **若菜副座長（座長代理）**

議事3の「その他」について、事務局から説明をお願いします。

#### **翁川担当課長**

逗子市都市公園有料公園施設及び逗子市立体育館の指定管理者候補選定委員会が立ち上がり、指名団体を公益財団法人逗子市体育協会とした、指名型プロポーザル方式で動いて

いく。

**若菜副座長（座長代理）**

以上で本日の議事がすべて終了した。進行を事務局に返す。

**翁川担当課長**

本日皆さまからいただいたご意見は、事務局でまとめた後、皆さまに内容のご確認をお願いする。皆さまのご確認の後、内容を確定する。

**●閉会**

**翁川担当課長**

次回の会議の日程については、改めて調整する。

これをもって「平成 30 年度第 1 回スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会」を閉会する。

◇◇◇終了◇◇◇

（※ 後日、目標値等が変更できない旨を企画課に確認し、委員の皆さまに訂正の連絡をした。）